

昭和 55年 1月 1日 発行

No. 215

ニセコ町役場 総務課

広報

ニセコ

あけましておめでとうございます



たいせつに保存をあとでお役に立ちます。

ニセコ町民憲章

一、自然を愛し、住みよい環境を

つくりましょう。

一、きまりを守り、明るい社会を

つくりましょう。

一、力をあわせ、豊かな生産に

はげみましょう。

一、健康で働き、楽しい家庭を

つくりましょう。

一、希望に生きる、たくましい

町民となりましょう。

昭和 55年 1 月 号



## 予 防 接 種 (ニセコ町での実施要領)

種別		受け年(月)	受け令	接種方法	時期
ジフテリア 百日ぜき 破傷風 (混合)	第1期	集団 24カ月～48カ月		3～8週間の間隔をおいて3回接種	年1回 8月～10月
	第2期	第1期完了後 12カ月～18カ月 たつてから接種		1回接種	秋
急性灰白 髄炎 (ポリオ)	第1回	生後3カ月～		6週間以上の間隔をおいて2回 経口投与する。	年2回 5月 ・10月
	第2回		18カ月		
B	C	G	3才までの間に 1回。できるだけ早く実施すること。	ツベルクリン接種後2日目にツベルクリン反応が陽性でない場合B C G接種をする。	年1回 6月
インフルエンザ		特に小児集団対象(保育所・幼稚園・小中学校 ・高校) 3才～18才 一般～希望者		4週間間隔で 2回接種 (なお卵アレルギーのあるものは禁)	年1回
					11月
麻しんワクチン (はしか)		生後18カ月 ～36カ月		1回接種 (約30%くらいに接種後5日～12日以内に発熱がある。)	年1回 2月

各種定期検診

種別	対象	時期
胃腸病集団検診	35才以上の住民	年2回 4月・10月
婦人科集団検診	30才以上の女性	年1回 4月
結核検診	(高校生を除く) 15才以上の住民	年1回 10月
献血	16才~64才までの 住民	年2回 昭和55年度 8月4日 11月27日

# こんなちは 保健婦です

## 家中で健康管理の 年間計画を



かがでしようか？町でも次の事業を実施します。（別表）又救急箱の整理、病気の人は定期的な諸検査をうけましょう。

夕正月づかれはありませんか？

昨年からの暮しのみだれがまねいた疲れを休養を軸にした規律ある生活で回復させましょう。

「もち」は消化のよい食品ですが、つい食べすぎて、糖質過多になります。タンパク質と野菜、果物などを充分にとりましょう。

成人病、とくに循環器系の病気には寒さが一番問題になります。高血圧、心臓病動脈硬化症などの心配のある人は、急に寒い思いをしないよう防寒対策が必要です。

（暖房された室内から出るときの

身仕度。入浴時、脱衣所の暖房、夜中のトイレはさけてせいぜい室内で尿器を使う。) カゼと思っていたが、腎炎や肺炎であることがあります。長びくかぜ、こじれたカゼには油断は禁物です。寒さでひきこもりがちな牛生活は気もちも暗くなりがちです。日中の散歩・室内遊戯などとみて軽い運動を。ワインタースポーツは、じゅうぶんな準備と、ひかれの計画で。

二七口町民生委員会	総務	渡辺 富一
	副総務	大栗 岩夫
委員	服部三和子	大徳 一幸
	鈴木 敏郎	吉岡 進
	亀田ヒロノ	牧野 環
	竹内 正光	三橋三三枝
	佐々木正俊	辻 榮一
	吉岡 米子	青山 進
委員一同		

社会人としての新しいスタート  
1月15日は成人式

社会への夕門出ヶを祝う「成人式」は、おとなになつたことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を励す行事として定着してきました。

羊蹄駐在区など選挙の投票で表彰され

ニセコ町明るい選挙推進協議会（会長大木勉）では、明るい選挙の推進、住民の政治意識の高揚、選挙における棄権防止などを進め、さらに一年間の選挙を通して投票成績の優秀な駐在区を表彰することになつておりましたが、去る十二月十日、統一地方選挙および衆議院議員選挙で投票成績が上位であつたつぎの三駐在区が表彰されました。

二七〇町役場	町長	遠藤 京作
	助役	菊地 哲夫
	収入役	川島 与作
	総務課長	横山 利雄
	税務課長	中村 豊
	住民課長	沼田 三美
	産業課長	飯原 富
	施設課長	米田 斎
	商工観光室長	奈良清太郎
二七〇町立保育所	所長	外職員一同
二七〇町学校給食センター	吉村 民司	外職員一同
センター長	日置 義雄	
副議長（喪中欠礼）	佐藤 和夫	
議員	大場 勇	
議長	小川 春美	
	片山 幸作	
	加賀 利男	
	山口 武雄	
	酒井 太郎	
	大橋定太郎	
重森 一宮	重森 春雄	
千葉 二郎	浜本 次一	
次一		
二七〇町議会		

議員	千葉祐一郎 南谷良助 一条敏夫 三橋博
(喪中欠礼)	(喪中欠礼)
事務局長	尾崎新吾
外職員一同	
二七コ町監査委員	片山英夫
委員員	南谷良助
二七コ町選挙管理委員会	
委員長	大栗岩夫
委員員	牧野環
会長代理	高田一郎
委員員	辻栄一
二七コ町農業委員会	
(喪中欠礼)	
事務局長	
外職員一同	

## 公庫で個人住宅建設資金を受付ています

住宅金融公庫では、昭和五十四年度第三回個人向け融資の受付けを、昭和五十五年一月後半頃に開始される予定で、その融資条件は

、土地の準備ができる方で、

自から住むための住宅に同居する

予定の世帯員のある方等で①住宅

の床面積が三十平方メートル以上

百二十平方メートル以下（六人以

上の同居家族、老人同居、身障者

同居の場合は百五十平方メートル

以下）。②融資限度額は木造八十

平方メートル四百五十万円。③利

率年五、五パーセント、④返済期

間は木造住宅二十五年以内、耐火

構造住宅三十年以内、⑤返済方

法は元利均等による毎月払い、毎

月払いと六ヶ月払いの併用、ステ

ップ返済の方法もできます。

なお、申込用紙の領布は現在公

**戸籍の窓口**  
(54年11月末現在)  
男………2,213人  
女………2,389人  
計………4,602人  
世帯数………1,299世帯

11月20日から  
12月15日まで  
(住民課窓口受付分)

ご結婚  
おめでとう。

倉地 博幸=伊藤志津子  
山川 喜義=原田 芳子  
中村 繁松=中山 供子

(北 栄)  
(中央 6)  
(本通団地)

会場 日 時

1月7日午前十時

会 費

金五百円

記

○岩瀬 一郎さん

(本通四)

十萬円

○ニセコ町青年団体協議会

○ダンスバーイ益金

五千円

全快祝を廃して

○愛情銀行に預託

○岩瀬 一郎さん

(本通四)

十萬円

○ニセコ町土地開発公社理事

○転入 ニセコ高等学校校長へ

○転出 新得高等学校校長へ

○紺野 清(ニセコ高等学校長)

○赤部 仁利(道教育庁高等

校課産業班主査)

○黒沢 義夫(同課庶務係)

○若妻の集い

○学校給食担当者会議

○例月出納検査

○ニセコ町4Hクラブプロジェクト

○ニセコ高校ホームプロジェクト

○若妻の集い

○ニセコ町4Hクラブプロジェクト

○ニセコ町4Hクラブプロジェクト